

インドネシア植林2009 ～植林3年目を終えて～

Friendship Afforestation Project
Panin Village, Phase II

Project period : June 2007 - May 2010

UPK CORPORATION

Forestry service of
West Sumatera Province

Main Cooperative for improvement
of Technology and Agroforestry
Community Welfare

JIFPRO

Japan International
Forestry Promotion &
Cooperation Center



NEWS 2010 JANUARY
No.14



- 3年間の植林を終えて..... 1
- 2年前に植えた苗は..... 2
- 植林を実際に体験！..... 3
- 製材・パレット工場見学..... 4
- 東南アジア出張記..... 5
- 編集後記..... 6



3年間の植林を終えて 植林継続

3年間継続して進めてきたインドネシア西スマトラ州パニンガハン村での植林活動は計41ヘクタールが植林され終了となります。

この植林を通じてパニンガハン村の村長さん他の皆さんとの交流も深まりました。村長さんは、植林を始めてから村の近くにあるシンカラ湖では原因不明で死ぬ魚が減り、村も経済的に豊かになったとおっしゃられていました。

来年度からはまた別の場所で植林を継続します。私達一人一人が植林活動に参加することが、地球環境を守る第一歩だと考えています。場所が変わっても植林活動を通じて地球環境に貢献出来る事は、全世界にuprあり！とも繋がっていくと信じています。(中嶋克宏)



上：シンカラ湖
下：Jasman S村長(赤い帽子)と酒田社長

2年前に植えた苗は

こんなに大きくなりました

2007年 植樹



2009年 現在



樹種：マホガニー



樹種：マホガニー



2年後、こんなに大きくなりました



同じ場所です



樹種：カラントス（スリアン）



樹種：カラントス（スリアン）

当社では2007年より環境への取り組みの一環として、国際緑化推進センター（JIFPRO）を通じ、インドネシアのパニングハン村にて植林を実施しています。2007年14ha、2008年13ha、2009年14haの計41ha（東京ドームの約9倍）の植林プロジェクトです。

インドネシアでの植林を始めて3年目になります。木材の成長の早さと植林の大切さを肌で感じる事が出来て非常に勉強になりました。第一回目に植樹した木々は私達の身長を越えて、2m以上になっていました。（成松静佳）

植林を実際に体験！

汗をかいて頑張りました



社長！なかなか似合います。



現地の方は慣れてます。土いじりは何年ぶり



楽しそうです。来年はもっとたくさん植えましょう。



全員で泥だらけになって穴を掘りました。



右は村長、左は色白社員。



こんな小さな苗が2年後には身長を追い越すのです。

この度の植林活動は3年目の最終年度に当たり、会社より選抜された若手チームに加わり昨年に引続き植林活動に参加する事ができました。また、昨年の植林時をお願いしていた『実際に自らの手で穴を掘り植林をするまで』の体験もできました。更に

初年度に植林された苗木の成長過程を確認して東南アジアでの成長の早さに改めて驚かされ、自然の大切さを感じ取ることができました。(中嶋 克宏)

製材・パレット工場見学 良質で大きな工場に驚きました



UPR UPR Corporation

「選べるパレット 探せるパレット
レンタルパレットの未来を切開く」



訪問したマレーシアの製材メーカーは、製材所としては珍しく伐採権を保有しており、同国ではありがちな雨季に材料が入りにくいといったようなトラブルもない優良企業です。材質も統一樹種であり品質については全く問題ありません。パレット材料として最高のレベルです。

製材工場は、熱処理用の人工乾燥室（KDルーム）も同工場で6室もあり、製材時のロス（端材）や、ノコ屑等も同工場にてボイラー用燃料として再利用するなど有効活用しており、私が訪問前に抱いていたイメージよりも機械化が進んでおり驚かされました。（清水重雄）



シンガポールの町並み



世界一のコンテナターミナル



F1レースカー



シンガポールNo.1ホテルのラッフルズホテル



シンガポールスリング発祥の LONG BAR



シンガポールスリング

出張の最終日、日曜日出勤の代休をいただき、シンガポール観光をしました。滅多に行けない海外なので、名所を行けるだけ行ってみようと思い、朝からフルに活動しました。

普通シンガポールに行ったならマーライオンを見るべきですが、前日に車から見えたので、今回はあえて却下。一番のおススメは最初に行った、「シンガポールフライヤー」と呼ばれる巨大観覧車です。高さ165m、ゴンドラは28人収容でき、マイクロバスが高く上がっていく感じです。シンガポールの町並みが全て見え1周30分くらいかかるのですが、景色に見とれ一瞬で終わってしまいました。(上記の町並みやコンテナターミナルはシンガポール

フライヤーから撮影しました。) たまたま、シンガポールの市街地は数日後にF1が行われることもあり、その準備で至る所で工事をしている状態でした。世界で唯一公道で夜にレースをするので、夜はレース用の照明の中を車で走れ、貴重な体験ができました。観覧車で気分が高まった後、セントーサ島へ渡るためにロープウェイに乗りました。思った以上に高度もあり、床がガラス張りになっているゴンドラで、一緒に乗ったY氏は高所恐怖症の為、少しテンション下がり気味に。高所恐怖症の方は、普通のゴンドラに乗ることをおすすめします。その後、電車好きの私のわがままに付き合っていていただき、MRT(地下鉄)に乗って、

マッサージを受けるため一番の市街地のオーチャードロードへ。平日の昼間ですが、人通りが本当に多く、活気に溢れた町でした。

慣れない海外出張で疲れた体を気持ちよくほぐしてもらい、最後に、ラッフルズホテル内にあるシンガポールスリング発祥の「LONG BAR」へ行きました。ここは、ピーナッツが無料で食べ放題で、殻を床に投げ捨てる事で有名です。店内に入った瞬間から床が殻だらけで、足が滑らないように気を付けながら席に着き、もちろんシンガポールスリングを注文しました。ピーナッツを投げ捨てたかったのですが、何故か非常に罪悪感を感じてしまいました。(村田 直輝)



マレーシアのツインタワー



料理前の大きな魚

マレーシアのツインタワーは夜になるとライトアップされ観光客で大変賑わっています。

インドネシアのパダンでの夕食は中華料理をいただきました。目の前に並べられたたくさんの魚から選んで調理する方式で、東南アジアならではの大きさに驚き、また常温に置いてある不安を感じながら食べました。(中嶋克宏)